



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200
TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 <http://www.seisen-h.ed.jp>

カイロス

καίρος

第80号

2023年9月7日発行

「私たちは皆、清泉の継承者」



教頭
ニッ木 睦子

「清泉にはどのような生徒さんがいますか。」と、学校説明会などで中学受験生の保護者の方からよく聞かれます。「明るくて元気な生徒が多いですよ。休み時間には賑やかな声があちこちから聞こえます。中には一人や少数で静かに過ごしたいと思う生徒もいて、そのような生徒は図書館や中庭のベンチで本を読んで過ごしています。色々な生徒がいて、それでもいいのだ、と多様性を認め合う空気があります。」といつも答えます。

生徒の皆さんにとって清泉はどのような場所ですか。学びの場、友達との憩いの場、部活動を勤しむ場、先生とおしゃべりする場：など色々な場がありますが、みなさん一人ひとりにとって清泉は特別な場所であることは変わらない

と思います。どのように学校を捉えるか、その価値観は多様であっても、一つの場所に集い、多様性の中に個性を發揮できるのです。それが清泉なのだと思います。今年、清泉は七十五周年を迎えました。五月の創立記念ミサ前に演劇部によって行われた朗読劇では、演劇部の生徒たちが演じた開校当時のシスター達の会話からその様子がイメージでき、多くのことを考えさせられるとても有意義な時間でした。今、私たちがここ清泉で学べているのは、あの頃のシスター達の賜物であり、その後何千人、何万人ものシスターをはじめとする教職員や生徒、保護者の関わりがあったからなのであると改めて感じました。船で何十日もかけて異国の地にたどり着き、教育を施すというのは想像以上に大変な事であり、不安なことも多くあったと思います。しかしそれと同時に大いなる希望に満ちていたことも想像できます。現代で言うなら、「宇宙に学校を開こう！」とスペースシャトルに乗ったシスター四名が火星で清泉を開校して宇宙人に教育を施した、というくらいの大きな挑戦だったかもしれ

ません。異国の地で自分たちのミッションに取り組める期待と不安がある一方で、希望も共に持っているからこそ清泉の精神を伝えるというチャレンジができるのです。

「周囲の幸せのために働くのが本当の愛です。」聖心侍女修道会の聖ラファエラ・マリアが残したこの言葉を当時のシスター達も、また今を生きる私たちも心に留めながら歩んでいます。大変な事、不安な事があっても希望が感じられるのは、常に周囲の幸せのために働こうとする無償の愛がそこにあるからです。見返りを求めず、手を差し出せる力は、必ず社会に大きな影響を与えます。その力を清泉で過ごすうちに身に付けていけると嬉しいです。

そして、私たち一人ひとりは何と言っても清泉の継承者です。ふだん学校生活を送っているとそのようなことはほとんど意識していないと思いますが、実は学校にいる全員が少しずつ清泉を次へと継承しています。これは誰一人として例外はいいません。つまり清泉に関わる人、全員が継承しているのです。このことをひとたび意識するとその責任の重さに気付かされます。その緊張感の中で、私たちにできること、すべきことをしていけばよいのです。あの頃のシスター達がチャレンジしたように。



◆ INSIDE ◆ ② 第57回高校合唱祭・清泉模擬国連・地域作業所交流会・ルワンダ講演会・校内大学説明会・高一・二希望者対象授業～食育 ③ 2022年度生徒会活動報告・清泉百花百景 齋藤淳子事務長 ④ 5 創立75周年特集～創立記念日2023年5月18日創立記念ミサ ⑥ 学生生活進行形 大阪大学 丹羽風歌さん ⑦ 短信・賞